

# イーストアイ・セーフティーアーム®シリーズ

## セーフティーアーム UXタイプウォーカー (品番: SAUX)

## UXタイプウォーカーハイ (品番: SAUXH)

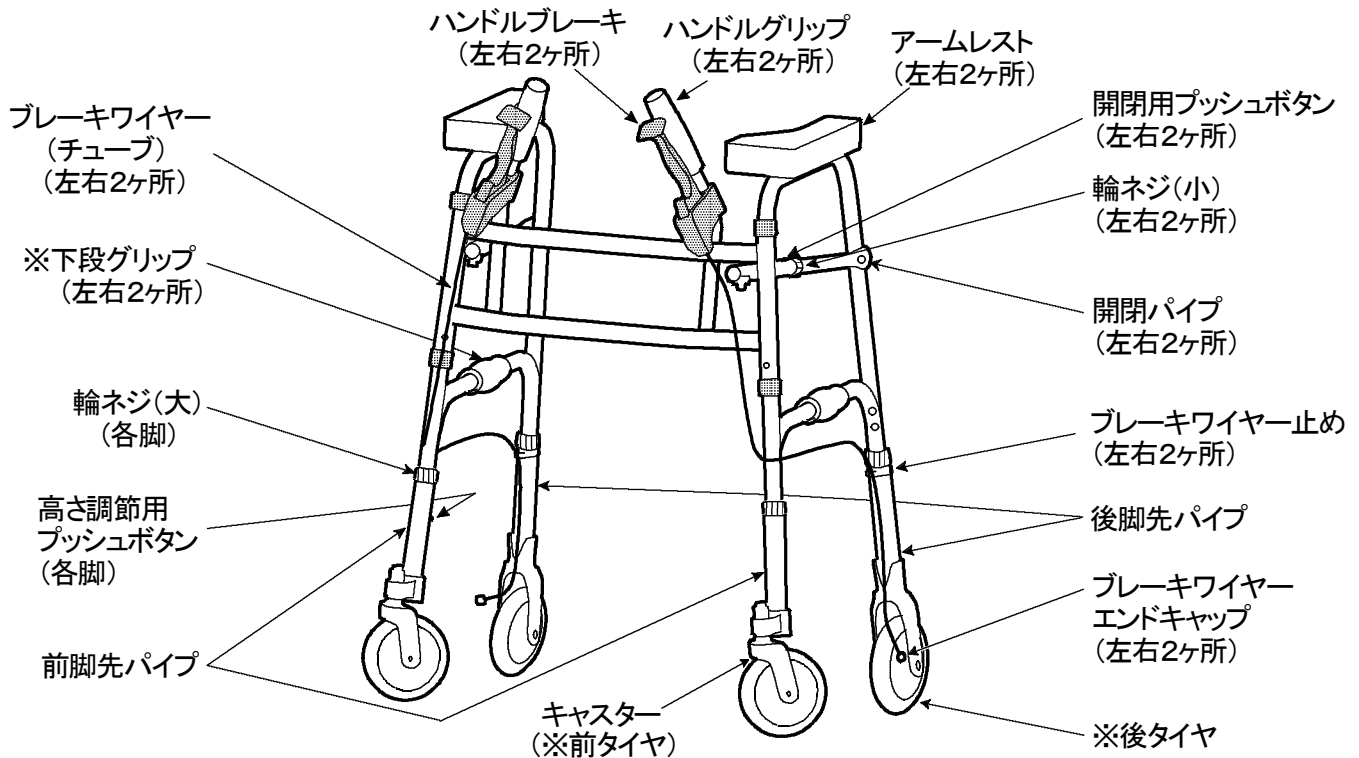
### 取扱説明書

この度は「イーストアイ・セーフティーアーム UXタイプウォーカー/UXタイプウォーカーハイ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

この「セーフティーアーム UXタイプウォーカー/UXタイプウォーカーハイ」は、屋内での歩行・立ち上がりを補助するための製品です。ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。また、長期間ご使用される間に使用者の症状が変わる場合がありますので、定期的に専門家にご相談ください。用具選定の際の適合が十分でなかったり、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。

### 【各部の名称】

※グリップ/タイヤの養生用ラップをはがしてからご使用ください




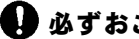


### 【目次】

・各部の名称	1P	・ブレーキの点検方法	15P
・警告表示の説明	2P	・お手入れの方法	16P
・使用条件	2P	・お手入れの際のチェックポイント	17P
・使用上の警告と注意	3～9P	・アームレスト・下段グリップの交換方法	18P
・ご使用前の準備	10～13P	・基本仕様	19P
・ブレーキの操作・調整方法	14P	・安全に製品をご使用いただくために	20P
・ご使用方法	14P		






## 【警告表示の説明】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

<p>警告表示： <b>警告</b></p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>警告表示： <b>注意</b></p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>図記号： <b>禁止</b></p> <p>使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p>図記号： <b>必ずおこなう</b></p> <p>使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

## 【使用条件】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

<p> <b>警告</b> 誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。</p>	
<p>専門家の指示に従う</p> <p> <b>必ずおこなう</b></p>	<p>●この「セーフティーアーム UXタイプウォーカー／UXタイプウォーカーハイ」は、屋内での歩行・立ち上がりを補助するための製品です。ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。また、長期間ご使用される間に使用者の症状が変わる場合がありますので、定期的に専門家にご相談ください。専門家の判断のもと、使用する場合は次の警告・注意事項をご確認ください。</p> <p>○用具選定の際の適合が十分でなかったり、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。</p>
<p>ブレーキ操作ができない方は使わない</p> <p> <b>禁止</b></p>	<p>●ブレーキの操作ができない方、グリップをしっかりと握ることができない方、両手で身体を支えることができない方は使用できません。また、つかまり立ち、伝い歩きができない方は使用できません。</p> <p>○身体の動きと歩行器の動きがあわないと、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>偏った荷重をかけない</p> <p> <b>禁止</b></p>	<p>●アームレストへ左右均等に体重をかけることができない方は使用できません。</p> <p>○偏った力をかけて使用すると、歩行器が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因となります。</p>
<p>屋外で使用しない</p> <p> <b>禁止</b></p>	<p>●この製品は屋内専用の歩行器です。屋外では使用しないでください。</p>
<p>体力や状態に応じて介助の方が付き添う</p> <p> <b>必ずおこなう</b></p>	<p>●自立歩行に不安のある方は、必ず介助の方が付き添いご使用ください。使用者の体力や状態、使用場所に応じて、介助の方が付き添いご使用ください。また、使用者の体力や状態に応じて介助の方が開閉動作やご使用前の準備をおこなってください。 * 身体の状態により、歩行時に、フレーム、タイヤなどへ身体の一部が当たることに気付くことが難しい場合には、必ず介助の方が付き添いご使用ください。</p> <p>○誤った使用方法をすると使用者や製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>ご使用前に各部を点検、メンテナンスする</p> <p> <b>必ずおこなう</b></p>	<p>●製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、ご使用前に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。この製品の保証期間はご購入日より1年間です。なお保証期間を超過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して定期点検をしてください。保証期間内、または期間を超過した製品につきましても、製品に異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。</p>

# 【使用上の警告と注意】

## 1. 本製品の使用前に確認すること

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

#### ブレーキの 作動確認と調整

##### 必ずおこなう

- ご使用前に必ずブレーキが正常に作動すること、また、駐車ブレーキをかけた時に、後タイヤがしっかり固定され、手でタイヤが容易に回転しないことをご確認ください。ブレーキを調整してもタイヤの固定ができない場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。  
○正常にブレーキがかからないまま使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
  - ご使用前に必ずブレーキワイヤーに異常がないことを毎回点検してください。高さ調節時などにブレーキワイヤーを無理に引っ張らないようにご注意ください。  
○ブレーキワイヤーが傷ついたり、変形してブレーキの効きが悪くなり、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
- \*ブレーキの点検につきましては、『ブレーキの点検方法:15頁』をご参照ください。

#### プッシュボタンと 輪ネジの ダブルロックを確認



##### 必ずおこなう

- 左右の開閉用プッシュボタンが大きく飛び出した状態にロックされていることを確認してご使用ください。ロックできない場合は「カチッ」と音がするまで、2~3度ゆっくり開いてください。
  - ロックを確認後、輪ネジ(小)をしっかり締めつけてください。(ダブルロック)  
○ご使用中に歩行器が折れたたまって不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
  - 高さを調節する際、脚先パイプの高さ調節用プッシュボタンが4ヶ所とも大きく飛び出した状態にロックされていることをご確認ください。プッシュボタンを深く押しすぎると中に入り込んでしまう場合があります。この場合は一度、脚先パイプをはずし、プッシュボタンを出してからセットし直してください。
  - ロックを確認後、輪ネジ(大)をしっかり締めつけてください。(ダブルロック)  
○使用中に本体が下がり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- \*プッシュボタン、輪ネジ(大・小)に異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

#### 脚先パイプは 同じ穴位置にセット

##### 必ずおこなう

- 脚先パイプは各脚とも同じ高さの穴位置にプッシュボタンをセットしてご使用ください。
- 歩行器が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### グリップと アームレストの 点検と確認

##### 必ずおこなう

- ご使用前に、ハンドルグリップ、下段グリップ、アームレストに「ネジのゆるみ」「ぐらつき」「破れ」などが無いことをご確認ください。  
○ご使用中にグリップやアームレストがはずれる、破損するなど思わぬ事故の原因になります。これらに異常がある場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
  - ゆるんだ下段グリップ取付けネジを繰り返し締めつけ直さないでください。「下段グリップ取付けネジのゆるみ」が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
  - 下段グリップは、溝が切られていないネジ受けにネジを締め込むことでしっかりと固定されます。そのため、ゆるんだグリップ取付けネジを繰り返し締め付け直すと、ネジがゆるみやすくなり、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因となります。
- \*グリップ・アームレスは消耗品です。グリップに摩耗や変形、ぐらつき、ネジのゆるみなどが見られた場合は交換してください。交換につきましては、『アームレスト・下段グリップの交換方法:18頁』をご参照ください。

## 1. 本製品の使用前に確認すること (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

#### ネジのゆるみを確認

##### 必ずおこなう

- ご使用前にネジやボルトのゆるみがないかご確認ください。タイヤ取付ボルトや各部の取付けネジは、ご使用とともにゆるみが出る場合があります。ゆるみがある場合は締め直してからご使用ください。
  - \*ネジやボルトを締めつけすぎると、動きが悪くなる場合があります。ネジやボルトを締め直した際に動きが悪くなった場合には、少しだけゆるめるなどして動きをご確認ください。
- ネジやボルトのゆるみがあるとタイヤや本体フレームがはずれたり、脱落して歩行器が固定されず不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

### 注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

#### 指はさみに注意

##### 注意

- 高さ調節時や歩行器の折りたたみ時に指をはさまないようご注意ください。

#### ガタつきに注意

##### 注意

- 本体に無理な力がかかることで、ガタつきが出る場合があります。ご使用前に必ず、本体にガタつきがないことをご確認ください。ガタつきがある場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
- 転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### タイヤのすり減りを確認

##### 必ずおこなう

- ご使用前に必ず、タイヤ(前・後)のすり減りがいいことをご確認ください。タイヤは消耗品です。確認の際にすり減りがひどい場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
- ブレーキの効きが悪くなる、本体がガタつくなど安定した走行ができなくなる原因になります。

#### 白樹脂のはずれと輪ネジのゆるみを確認

##### 必ずおこなう

- 本体脚先の白樹脂がはずれた場合は、はめ直してください。はめ直し方については、『高さの調節:12頁』をご参照ください。また、脚先パイプの輪ネジ(大)が確実に締まっていることをご確認ください。
- 脚先パイプと本体の間にすき間ができてカタカタ音がしたり、歩行器がガタつく原因になります。

#### 輪ネジを締める時の注意

##### 注意

- 開閉パイプと脚先パイプの輪ネジ(大・小)を締める時は、ネジ山がきちんと合った状態で締めつけてください。
- ネジ山が合わないまま締めつけるとネジ山が潰れて、輪ネジが締められなくなります。

## 2. 使用方法についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

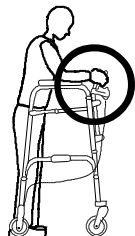
### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

#### グリップを握って使用

##### 必ずおこなう

- 歩行時には、両前腕を左右のアームレストにのせ、左右の「ハンドルグリップ」をしっかり握り、常にブレーキをかけられる状態にてご使用ください。
- 立ち上がる際は左右の「下段グリップ」をしっかり握りご使用ください。



歩行時はアームレストに前腕をのせて、ハンドルグリップをしっかり握る！

- グリップ以外を握り使用すると、指をはさんだりパイプの破損や転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



立ち上がる時は下段グリップをしっかり握る！



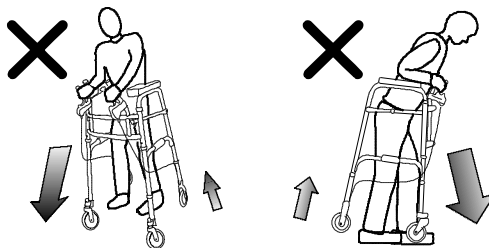
グリップ以外は握らない！

#### 左右のアームレストに均等に体重をかける

##### 必ずおこなう

- 必ず両前腕を左右のアームレストにのせ、左右のグリップを握り、左右均等に体重がかかるようにご使用ください。

- 偏った力をかけて使用すると、歩行器が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



#### 駐車の際は駐車ブレーキを使用

##### 必ずおこなう

- 歩行器から離れる際は、必ず左右の駐車ブレーキをかけて、歩行器が動かないことをご確認ください。

- 歩行器が急に動きだし、通行者にぶつかるなど思わぬ事故の原因になります。

#### 立ち上がり、移乗の際は駐車ブレーキをかける

##### 必ずおこなう

- 立ち上がり、歩行器への移乗、または歩行器から移乗する際は、必ず左右の駐車ブレーキをかけてください。また、必ず介助の方が付き添いご使用ください。

- 歩行器が急に動きだし、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### 駐車ブレーキをかけたまま移動しない

##### 禁止

- 駐車ブレーキをかけたまま、歩行器を移動しないでください。

- 後タイヤが摩耗したり、ブレーキ部品の破損などにより思わぬ事故の原因になります。

#### 左右のブレーキを均等な力で使用（急ブレーキ禁止）

##### 禁止

- 左右のブレーキを均等にかけて使用してください。急ブレーキはかけないでください。

- 片方のブレーキだけ強くかける、急ブレーキをかけるなどすることで、使用者がバランスを崩して、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

#### 開閉パイプに力をかけない

##### 禁止

- 開閉パイプにつかまりながら立ち上がったたり、歩行しないでください。

- 開閉パイプは本体をたたんだり、開いたりするための補助的なパイプです。力をかけると、パイプが破損して転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

次の頁に続く

## 2. 使用方法についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

走って使用しない  
⊘ 禁止

- 歩行器を使用して走らないでください。  
速度をブレーキで調整しながらゆっくり歩行してください。
- 歩行器の速度が増して、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

歩行器を前に進め  
過ぎない  
⊘ 禁止

- 使用の際、一度に歩行器を前へ進め過ぎないでください。  
歩行器を歩行の速度にあわせてゆっくり前へ進めてください。
- 身体を前に移動させることが困難になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

身体の後ろに置いて  
使用しない  
⊘ 禁止

- 歩行器を身体の後ろに置いて歩行しないでください。
- 転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

折りたたんだ  
状態で使用しない  
⊘ 禁止

- 折りたたんだ状態で使用しないでください。
- 不安定な状態で使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

体力や状態に応じて  
介助の方が付き添う  
❗ 必ずおこなう

- 自立歩行に不安のある方は、必ず介助の方が付き添いご使用ください。  
使用者の体力や状態、使用場所に応じて、介助の方が付き添いご使用ください。  
また、使用者の体力や状態に応じて介助の方が開閉動作やご使用前の準備をおこなってください。  
\* 身体の状態により、歩行時に、フレーム、タイヤなどへ身体の一部が当たることに  
気付くことが難しい場合には、必ず介助の方が付き添いご使用ください。
- 誤った使用方法をすると使用者や製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ  
事故の原因になります。

## 3. 使用場所についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

屋外で使用しない  
⊘ 禁止

- この製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。

平らな場所で使用  
❗ 必ずおこなう

- 穴やくぼみや溝のない平らな場所でご使用ください。  
使用前に歩行する範囲の通路面に穴やくぼみや溝などが無いことをご確認ください。
- 溝にタイヤがハマって動けなくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

傾斜面で使用しない  
⊘ 禁止

- 傾斜面では使用しないでください。
- 走行が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

次の頁に続く

### 3. 使用場所についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

#### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

敷居や敷物などの  
上では使用しない

 禁止

●敷居や小さな段差などの障害物がある場所や毛足の長いじゅうたん、ござなど、敷物の上では使用しないでください。

○特に毛足の長いじゅうたんなど敷物の上、また、敷物の縁では歩行器の脚先が引っかかりやすくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

滑りやすい場所  
などで使用しない

 禁止

●濡れた床、タイル面などでは使用しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

介助の方が  
持ち運びをする

 必ずおこなう

●階段などでは、必ず介助の方が歩行器を折りたたみ持ち運びしてください。  
高い場所への出し入れ、車などへの積み下ろしは、必ず介助の方がおこない、  
使用者ご自身での持ち運びはしないでください。

○使用者が転倒する、歩行器が転倒、転落するなど思わぬ事故の原因になります。

視界が悪い場合は  
使用しない

 禁止

●視界が悪い場合は使用しないでください。また、夜間などに使用する場合は、  
必ず介助の方が付き添い、十分注意してご使用ください。

○転倒や他の通行物への衝突など思わぬ事故の原因になります。

階段・エスカレーターなど  
で使用しない

 禁止

●階段やエスカレーター、動く歩道などで使用しないでください。

○使用者が歩行器においていかれ、転倒や転落などの思わぬ事故の原因になります。

浴室内で使用しない

 禁止

●浴室内で使用しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、浴室内の水分により金属部分のサビや、樹脂部の劣化を早める原因になります。

#### 注意

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

通行者の少ない  
場所で使用

 注意

●通行者の多い場所では使用を避けるか、介助の方が付き添いご使用ください。

○通行者と接触し転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

壁、家具などに注意

 注意

●一般家庭など、屋内の限られたスペースで歩行器を使用する場合、歩行器が壁や家具などに当たる、ぶつかる、こすれる場合がありますのでご注意ください。  
ご使用の際に歩行器が壁や家具にぶつかる場合は、介助の方が付き添われるか  
市販のゴムシートなどで壁や家具を保護してご使用ください。

○歩行器が破損したり、壁・家具などがキズつく原因になります。

次の頁に続く

### 3. 使用場所についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

#### 注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

ブレーキワイヤーの  
引っかかりに注意  
ブレーキワイヤーを  
無理に引っ張らない

#### 注意

ブレーキワイヤー  
エンドキャップの  
確認

#### 必ずおこなう

- ご使用の際に、ブレーキワイヤーが周囲の物に引っかからないようにご注意ください。  
また、高さ調節時にブレーキワイヤーを無理に引っ張らないようにご注意ください。
- ブレーキワイヤーがキズついたり、変形してブレーキの効きが悪くなり、転倒によるケガ  
思わぬ事故の原因になります。
- ブレーキワイヤーの先端が外側に向いていること、ブレーキワイヤーエンドキャップが  
付いていることをご確認ください。
- 使用中に足がブレーキワイヤーエンドキャップにあたることで、ブレーキワイヤーエンド  
キャップが取れるおそれがあります。また、ブレーキワイヤーエンドキャップが取れたまま  
使用を続けることで、ほつれたブレーキワイヤーの先端が足にあたりケガをするなど  
思わぬ事故の原因になります。
- \*ご使用前に必ずブレーキワイヤーに異常がないことを毎回点検してください。  
ブレーキの点検につきましては、『ブレーキの点検方法:15頁』をご参照ください。

### 4. 修理、改造についての警告

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

#### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が  
想定される内容を説明しています。

交換修理について

- グリップ、タイヤ、ブレーキワイヤーなどは交換修理ができます。  
傷や摩耗、変形などが見られる場合は交換修理をおすすめします。  
交換修理につきましては、  
『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

パイプを曲げ  
戻さない  
(修理の禁止)

#### 禁止

- 歩行時に脚先が溝や穴にはまり、転倒するなどして大きな力がかかった場合に、  
パイプが曲がる場合があります。このときにパイプを元の状態に曲げ戻さないでください。  
\*パイプに変形、異常が現れた場合には、即時に使用を中止し、  
『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。
- アルミパイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに  
亀裂が入り使用中に突然折れて、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

改造をしない

#### 禁止

- 本体に穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は  
絶対にしないでください。
- 改造された製品は強度や安定性などの保証はできません。  
また、改造された製品に不具合が起きても弊社での修理対応はできません。

異常が  
現れた時には  
(修理の禁止)

#### 禁止

- 『お手入れの際のチェックポイント:17頁』をご参照の上、ご使用前に各部を点検して  
ください。万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は、即時に使用を中止し、  
『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。  
お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。  
\*お客様ご自身で修理を行った場合、弊社での修理対応ができなくなる場合があります。

## 5. 保管・保安上の注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。  
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

### 注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

#### 折りたたんだ状態での注意

##### 注意

- 折りたたんだ状態で置く場合は、左右の駐車ブレーキをかけ、歩行器が倒れないように壁などに立てかけてください。
- 歩行器本体の転倒により、そばにいる方がケガをされたり、歩行器や、周囲の物の破損など思わぬ事故の原因になります。

#### 保管時の注意

##### 注意

- 使用しない時は折りたたみ、収納保管してください。また、幼児や子供の手の届くところには放置しないでください。
- 通行する人が歩行器につまずいて転倒したり、誤って踏まれると変形、破損する原因になります。また、この歩行器で幼児や子供が遊ぶと、指、頭をはさむ、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

#### 幼児や子供に注意

##### 注意

- 幼児や子供は思わぬ行動をする場合があるため、この歩行器に近づけないよう十分にご注意ください。
- この歩行器は折りたたみができる構造ですので、幼児や子供がいたずらをしたりすると、指などをはさんだりしてケガをするなど思わぬ事故の原因となります。また、この歩行器で遊んだりすると、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

#### 直射日光に注意

##### 注意

- 保管時は、直射日光の当たらない屋内に収納保管してください。
- 屋外に放置するとサビや紫外線による金属、樹脂、ゴムの劣化が進行しやすくなる原因になります。

#### 保安上の注意

##### 注意

- 非常口や消火器、消火栓の前には放置しないでください。
- 緊急時の避難や救助の妨げになります。

#### 火のそばに置かない

##### 禁止

- 歩行器を火(暖炉、ストーブ、ファンヒーターなど)のそばに置かないでください。
- パイプに触れてやけどをしたり、グリップや樹脂部分などが溶けて使用できなくなる恐れがあります。

#### 濡れたまま放置しない

##### 禁止

- 飲み物がこぼれる、消毒液がかかるなどして濡れた場合はすぐに拭き取り、乾燥させてください。『お手入れの方法:16頁』をご参照ください。
- 濡れたまま放置すると、金属部分がサビたり、樹脂部品の劣化(退色、亀裂)が進行しやすくなる原因になります。薬品などがかった場合、薬液の影響などで金属部分や樹脂部の劣化が早期に進行する可能性があります。

#### 乱暴な取扱いはしない

##### 禁止

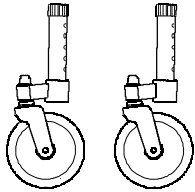
- 「歩行器を倒す」などの乱暴な取扱いはしないでください。また、「高いところから落とす」「壁や段差にぶつける」など、繰り返し強い衝撃が加わるような使い方はしないでください。
- パイプが変形して歩行器がガタつき、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、繰り返し強い衝撃が加えられると樹脂部分に破損を生じる恐れがあります。

# 【ご使用前の準備】

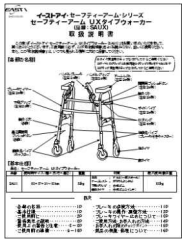
## 『1. 内容物の確認』 ❶ 必ずおこなう

梱包箱から内容物を取り出して以下のものがそろっていることをご確認ください。  
確認できましたら、4つのタイヤと2つの下段グリップの養生用ラップをはがしてください。

<全機種共通>

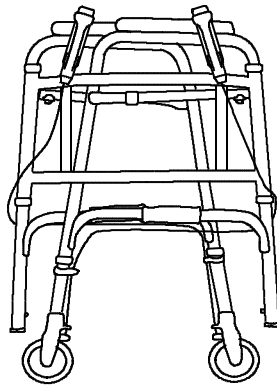


前脚先パイプ(右用)×1  
前脚先パイプ(左用)×1  
\* SAUXの場合は左右共通です



取扱説明書(本書)

<UXタイプウォーカー:SAUX>

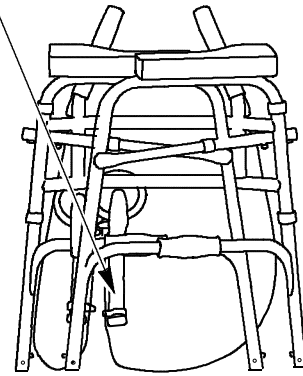


本体(後脚先パイプ取付け済)×1

ふれ止め樹脂×2  
(前脚先用)

<UXタイプウォーカーハイ:SAUXH>

後脚先パイプ×2 (留め具で固定されています)



本体×1

ふれ止め樹脂×4  
(前脚先・後脚先用)

\* 組み立ては機種により異なります。当該機種の頁をご参照ください。  
UXタイプウォーカー(SAUX).....<SAUXの組み立て>:下記へ  
UXタイプウォーカーハイ(SAUXH) ...<SAUXHの組み立て>:11頁へ

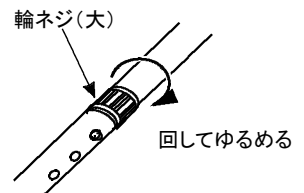
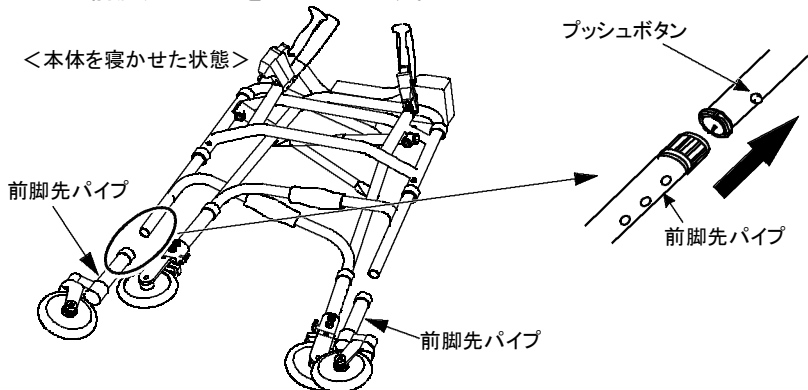
## 『2. 組み立て』

### <SAUXの組み立て>

① 本体を寝かせた状態で、本体前脚のプッシュボタンを押しながら前脚先パイプを差し込みます。

② 輪ネジ(大)をゆるめて脚先パイプから離します。

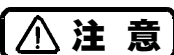
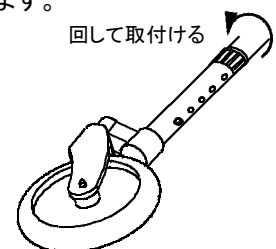
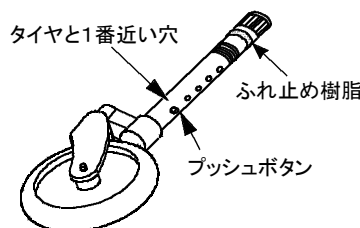
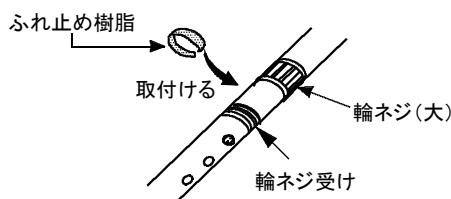
<本体を寝かせた状態>



③ 付属のふれ止め樹脂を脚先パイプの輪ネジ受けと輪ネジ(大)の間に取付けます。

④ 前脚先パイプのタイヤと一番近い穴からプッシュボタンが飛び出るように差し込みます。

⑤ 輪ネジ(大)を回して取付けます。  
※輪ネジ(大)の中にふれ止め樹脂が入ります。



**注意**

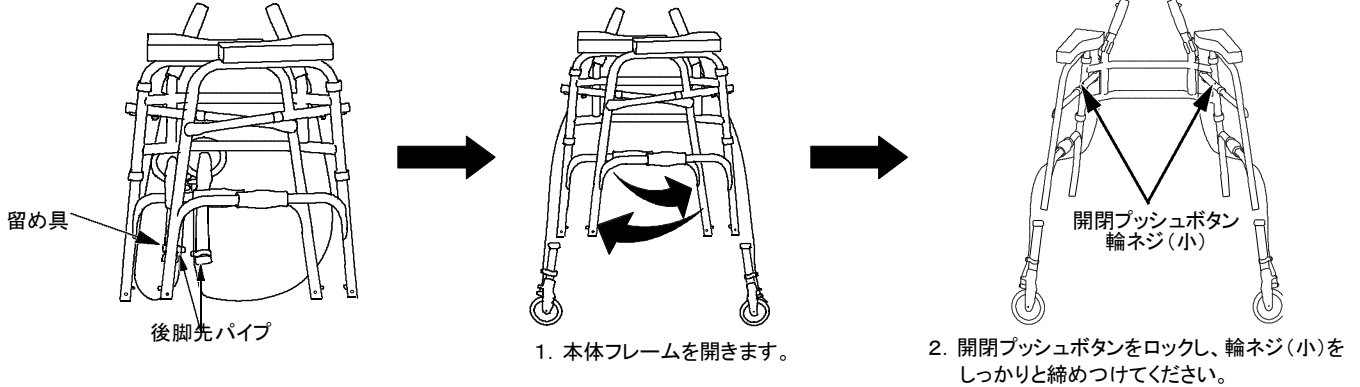
● 指をはさまないようにご注意ください。

『3. 開閉方法:12頁』へ

# 【ご使用前の準備】 続き・・・

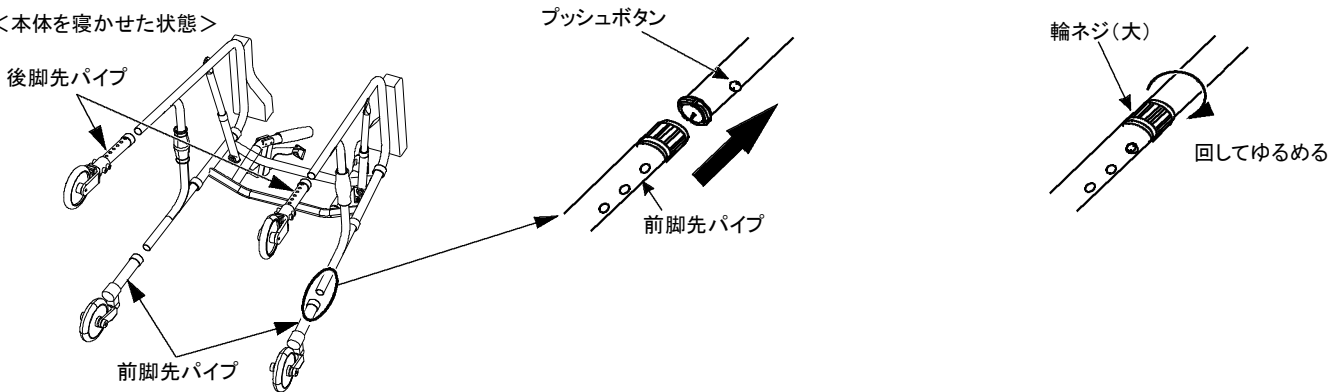
## <SAUXHの組み立て>

① 本体を寝かせた状態で、本体・パイプ・ワイヤーなどをキズつけないよう、パイプを固定している留め具をはずし、左右の本体フレームをゆっくり開きます。

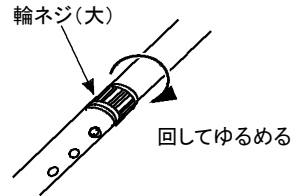


② 本体を寝かせた状態で、本体脚のプッシュボタンを押しながら脚先パイプを差し込みます。

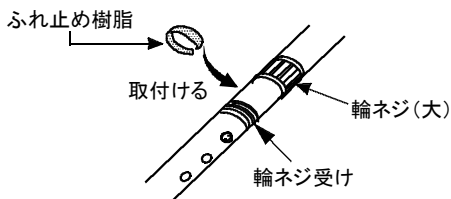
<本体を寝かせた状態>



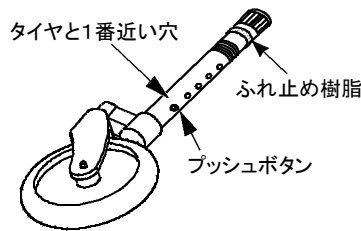
③ 輪ネジ(大)をゆるめて脚先パイプから離します。



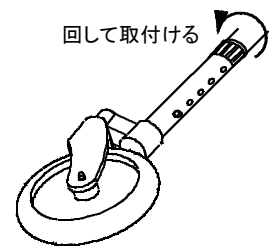
④ 付属のふれ止め樹脂を脚先パイプの輪ネジ受けと輪ネジ(大)の間に取付けます。



⑤ 脚先パイプのタイヤと一番近い穴からプッシュボタンが飛び出るように差し込みます。



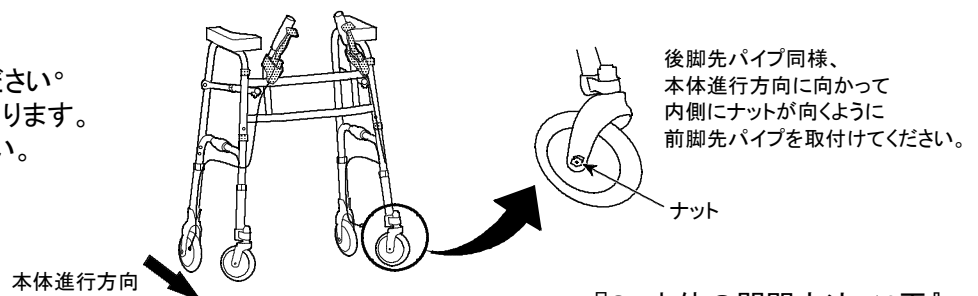
⑥ 輪ネジ(大)を回して取付けます。  
※輪ネジ(大)の中にふれ止め樹脂が入ります。



\* イラストは前脚先パイプですが、後脚先パイプも同じように取付けてください。

### ⚠ 注意

- 指をはさまないようにご注意ください。
- 前脚先パイプには、左右があります。右図の通りに取付けてください。



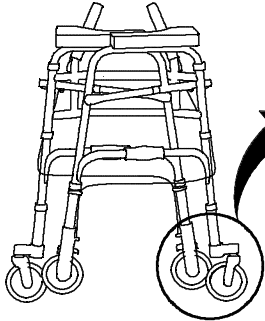
『3. 本体の開閉方法: 12頁』へ

## 【ご使用前の準備】 続き・・・

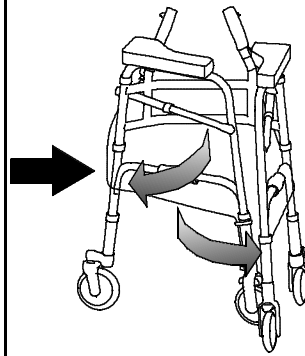
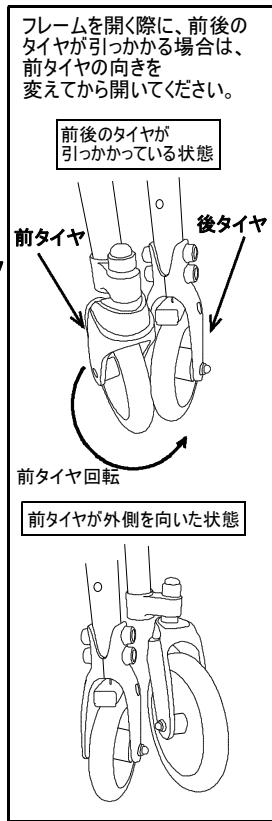
『3. 開閉方法』 (収納時は輪ネジ(小)をゆるめ、開閉用プッシュボタンを押して下図の逆の手順で折りたたんでください。)

### ⚠ 注意

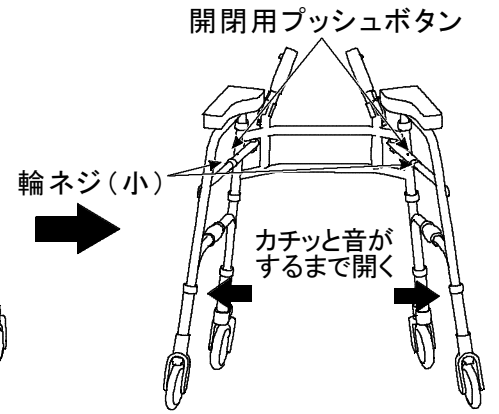
- 指をはさまないようにご注意ください。



- ①折りたたまれた(収納)状態のまま本体を起こします。  
\* 収納時は倒れやすいのでご注意ください。



- ②両側の輪ネジ(小)がゆるんでいることを確認して、左右のフレームをゆっくり開きます。



- ③左右の開閉用プッシュボタンを確実にロックします。ロックできない場合は「カチッ」と音がするまで、2~3度ゆっくり開閉してください。その後、輪ネジ(小)を確実に締めてください。

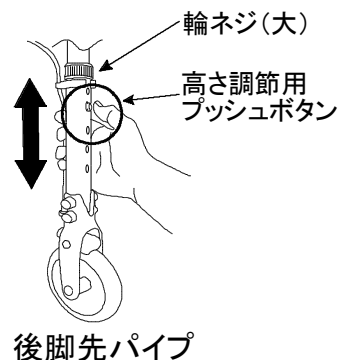
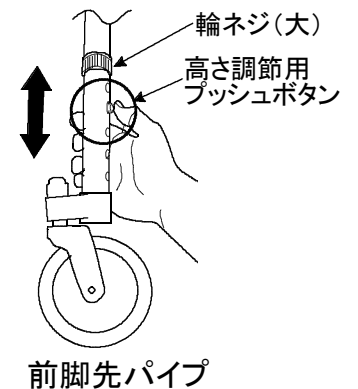
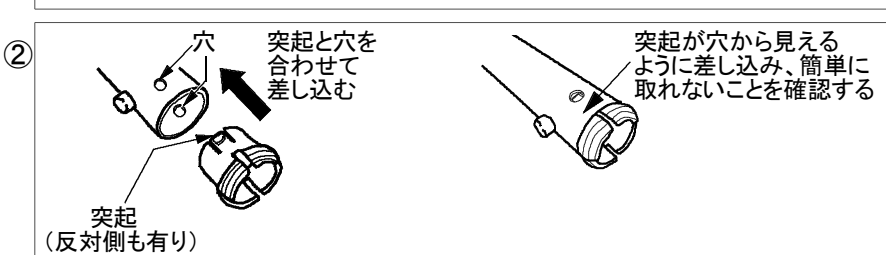
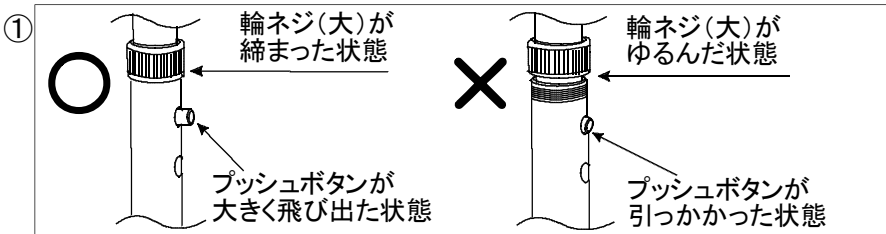
## 『4. 高さの調節』

使用者に合わせて脚先パイプでアームレストの高さを調節してください。

### ⚠ 警告 ⚠ 注意

- 指をはさまないようにご注意ください。
- プッシュボタンが大きく飛び出した状態になっていることを確認してから、輪ネジ(大)を4ヶ所ともしっかりと締めてください。(下図①参照)
- 脚先パイプを抜いた際、本体脚先の白樹脂が本体脚先からはずれている場合ははめ直してください。(下図②参照)
- 脚先パイプの輪ネジ(大)がゆるんでいたたり、本体脚先の白樹脂がはずれていると、カタカタ音がしたり、歩行器がガタつく原因になります。白樹脂が外れている場合は、白樹脂をはめ直してから輪ネジ(大)を締めてください。輪ネジ(大)がゆるんでいる場合は、しっかりと締めてください。(下図①、②参照)

＜高さ調節方法＞  
輪ねじ(大)をゆるめます。高さ調節用プッシュボタンを押しながら脚先を上下にスライドさせます。



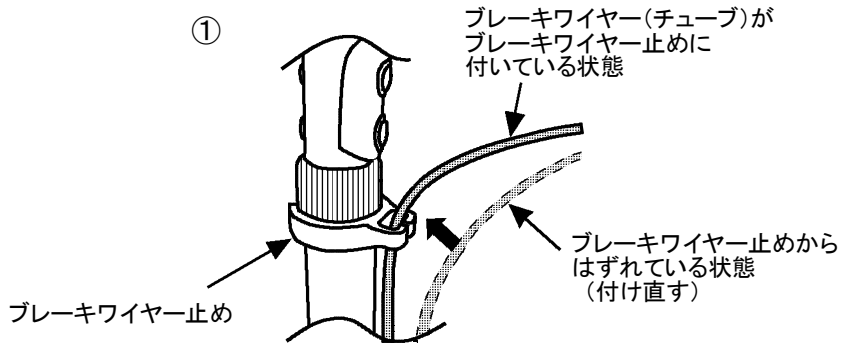
## 【ご使用前の準備】 続き・・・

### 『5. ブレーキワイヤー止めについて』

**警告** **注意** ① 必ずおこなう

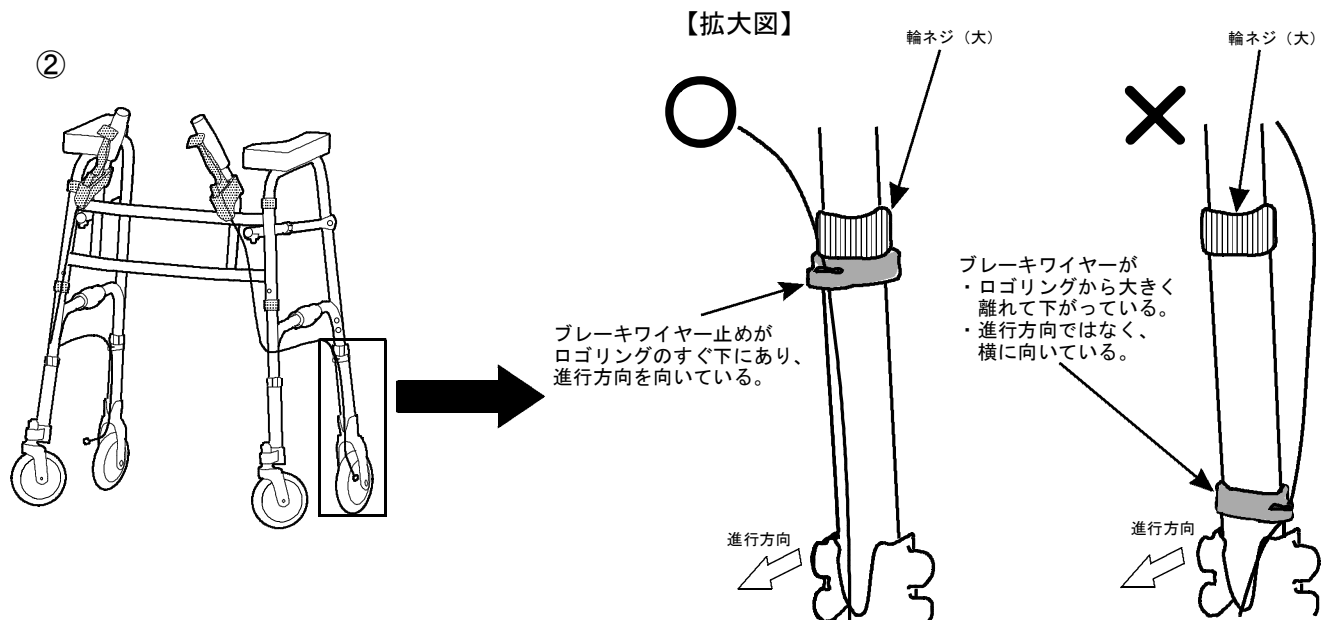
●ブレーキワイヤーがブレーキワイヤー止めに付いていることをご確認ください。  
ブレーキワイヤーがブレーキワイヤー止めからはずれた場合は、取付け直してください。(下図①参照)

○ブレーキワイヤーが、ブレーキワイヤー止めからはずれたままにしておくと、ブレーキワイヤーが外側に向き周囲のものに引っかかり、ブレーキワイヤーにキズ・変形が生じる、無理に引っ張られることによりブレーキの効きが悪くなる、ブレーキがかかったままになるなど、思わぬ事故の原因になります。



●ブレーキワイヤー止めが正しい位置にあることをご確認ください。  
ブレーキワイヤー止めがずれている場合には、正しい位置に直してください。(下図②参照)

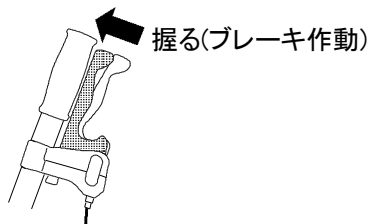
○ブレーキワイヤー止めが正しい位置にないと、ブレーキワイヤーが外側に向き周囲のものに引っかかり、ブレーキワイヤーにキズ・変形が生じる、無理に引っ張られることによりブレーキの効きが悪くなる、ブレーキがかかったままになるなど思わぬ事故の原因になります。



# 【ブレーキの操作・調整方法】

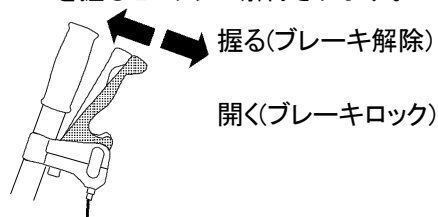
## 1. 歩行ブレーキの操作方法

ブレーキレバーを握り(自転車のブレーキと同じように)、握る力を調整しながらブレーキをかけ、歩行器の速度を調整します。



## 2. 駐車ブレーキの操作方法

ブレーキレバーを"カチッ"と音がするまで開くと、ブレーキレバーが止まり、後タイヤがロックされます。ブレーキレバーを握るとロックが解除されます。



## 3. ブレーキの調整方法

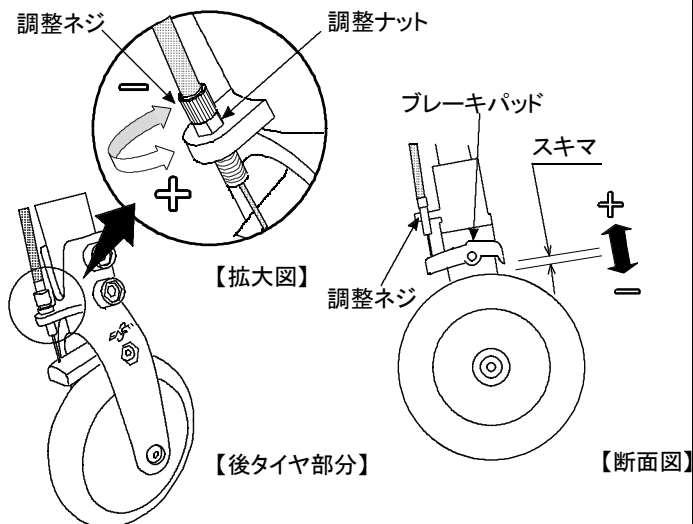
調整はブレーキを解除した状態で、ご使用される方に合わせて、脚先パイプを使用する高さに調節して、おこなってください。

調整ネジを抑えながら、ナットを左右に回して、タイヤとブレーキパッドのスキマを調整します。

- ・ナットを右に回すと、スキマが小さく(-)になります。
- ・ナットを左に回すと、スキマが大き(+)

ブレーキを解除した状態でタイヤに引っかかりがないこと、駐車ブレーキをかけ、後タイヤを手で持ち、容易にタイヤが回転しない状態に固定されることをご確認ください。

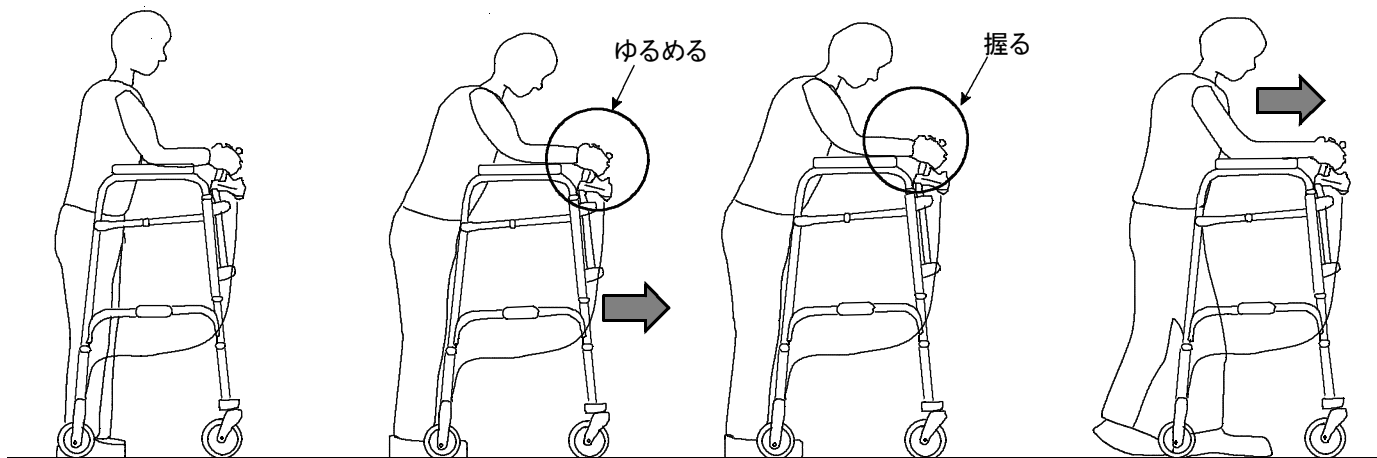
ブレーキの調整をおこなってもタイヤが固定されずブレーキが作動しない場合は、タイヤのすり減りやブレーキパーツの破損などの可能性があります。その際には使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 20頁』または発売元までお問合せください。



# 【ご使用方法】

\* ご使用の前に下段グリップ/タイヤの養生用ラップがはがしてあることを再度ご確認ください。

歩行方法 (下の②~④までの動作を繰り返し、少しずつ歩行してください。)



- ①左右のブレーキレバーとハンドルグリップを握り、前腕を左右のームレストの上ののせます。
- ②左右のブレーキをゆるめて、両腕で歩行器を軽く押すように前に動かします。
- ③左右のブレーキレバーをしっかり握り、歩行器を確実に停止させます。
- ④左右の歩行ブレーキを作動させたまま、身体を少しずつ前に移動させます。

# 【ブレーキの点検方法】 ⚠️ 必ずおこなう



誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

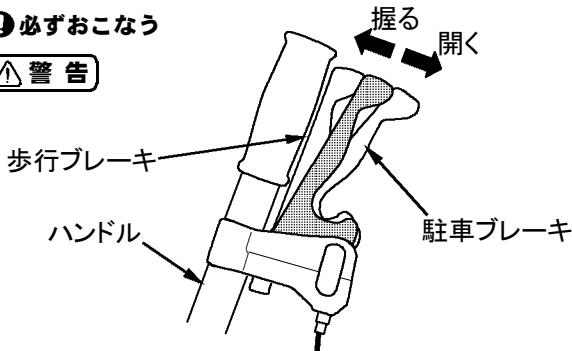
## 【ブレーキ点検についての注意】 安全のために、必ずお守りください！

ブレーキに関する下記の①～④までの項目については、**使用前に必ず毎回点検をおこない**ブレーキが正常に作動することをご確認ください。駐車ブレーキを作動させてもタイヤが動く場合などブレーキに異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。

**\*ブレーキワイヤーは安全のため、必ず1年に一度定期的に点検してください。**

### ①ブレーキレバー左右2ヶ所

⚠️ 必ずおこなう



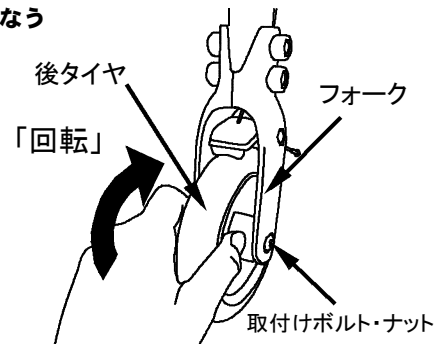
ブレーキレバーを握り、歩行ブレーキを作動させ、タイヤが動かないことをご確認ください。

次に、ブレーキレバーを開いて駐車ブレーキを作動させ、ブレーキレバーが固定されること、ブレーキパッドがしっかり、後タイヤを抑え、手でタイヤが回転しないことをご確認ください。左右2カ所とも必ずご確認ください。

『1. 歩行ブレーキの操作方法：14頁』をご参照ください。

### ②後タイヤ・フォーク・取付けボルト

⚠️ 必ずおこなう



ブレーキをかけてもタイヤが回転してしまう場合、タイヤのすり減りの可能性があります。調整方法に従い調整をお願いします。

『3. ブレーキの調整方法：14頁』をご参照ください。

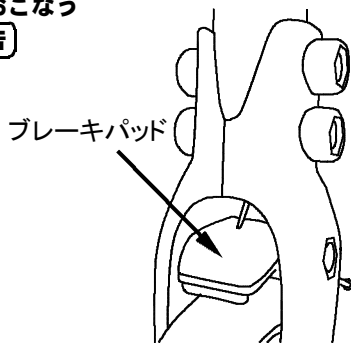
次に、タイヤが滑らかに回転すること、フォークに変形や破損がないこと、取付けボルトにゆるみがないことを、左右2カ所とも必ずご確認ください。

\* 定期的に車軸部には注油してください。

\* タイヤに油がついた場合はふき取ってください。

### ③ブレーキパッド左右2ヶ所

⚠️ 必ずおこなう



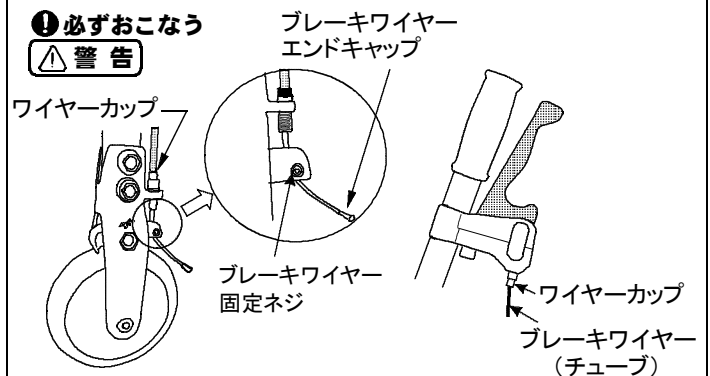
②でブレーキを調整しても、正常に作動しない場合、ブレーキパッドが動かなくなっている可能性があります。ブレーキパッド周囲に、ゴミや髪の毛などの異物がからまっていないかご確認ください。異物などがからまっている場合は取り除き、ブレーキパッド可動軸部に注油してブレーキパッドの動きをご確認ください。

\* 定期的にブレーキパッド可動軸部に注油してください。

\* ブレーキパッドのタイヤ接合面や、タイヤに油がついた場合はふき取ってください。

### ④ブレーキワイヤー固定ネジ・ ブレーキワイヤー(チューブ)左右2ヶ所

⚠️ 必ずおこなう



②③をおこなってもブレーキが正常に作動しない場合、ブレーキワイヤーやチューブの劣化、チューブの両端がブレーキワイヤーカップにはまっていない、またはブレーキワイヤー固定ネジのゆるみなどの可能性があります。ブレーキワイヤーやチューブに劣化がないこと、チューブの両端がブレーキワイヤーカップにはまっていること、ブレーキワイヤー固定ネジが確実に締めつけられていることを確認後、ブレーキワイヤーがブレーキパッドにしっかり固定されていることをご確認ください。また、ブレーキワイヤーエンド部分が外側に向いていること、ブレーキワイヤーエンドキャップが付いていることをご確認ください。ブレーキワイヤーなどに異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。

## 【お手入れの方法】

- \* 汚れを落とす際は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞ってふき取ってください。  
汚れをふき取った後は、乾いた布で水気をふき取り乾燥させてください。
- \* タイヤの動きをスムーズにするため、定期的に車軸部に市販の自転車用機械油などを注油してください。  
『お手入れの際のチェックポイント: 17頁』をご参照ください。

### お手入れの際の注意

- お手入れの際にケガなどには十分ご注意ください。

### 本体……………

- シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。  
○樹脂部分やグリップゴムが溶け、変形する恐れがあります。
- 金ブラシ・たわしなどは使用しないでください。  
○アルミパイプ、その他樹脂部分がキズつきます。
- 開閉パイプ取付けネジのゆるみを定期的にご確認ください。  
開閉パイプ取付けネジがゆるんでいる場合は、手でゆるめられない位置までナットをスパナで締め直してください。  
\* 開閉パイプ取付けネジを締めつけすぎると、開閉動作がしにくくなります。  
ネジを締め直した際に、動きが悪くなった場合には、少しゆるめて動きをご確認ください。  
○ネジがゆるんだまま使用すると開閉パイプが脱落して歩行器が固定されずに不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- フレームの一部・ボルト・ナット・カシメなどはスチール製です。  
定期的に市販の防錆油などで、サビ止め処置をおこなってください。
- 車軸部に注油する際は、タイヤやブレーキパッドに油が付着しないようご注意ください。  
○ブレーキの性能が著しく低下する恐れがあります。
- 本体や、パイプ溶接部にキズや亀裂がないかを定期的にご確認ください。

### アームレスト、グリップ各部…

- アームレスト、グリップは、水または薄めた中性洗剤を含ませた布などで汚れを落としてください。洗浄後は洗剤、水気をよくふき取ってください。  
○汚れたまま、ぬれたまま放置すると樹脂やゴムが劣化する原因になります。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。  
○樹脂やゴムが溶けたり、変色、変形する恐れがあります。
- アームレスト、下段グリップは使用状況により取付けネジからサビがでる場合があります。使用前に市販の防サビ剤などの塗布をおすすめします。



## 【お手入れの際のチェックポイント】



**警告**

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

- 製品は使用とともに劣化が進みます。この取扱説明書をご参照の上、定期的の下図の部分を中心に歩行器の各部を点検してメンテナンスをしていただきますようお願い申し上げます。
- この製品の保証期間は、ご購入日より**1年間**です。  
なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいている歩行器につきましても、特に注意して定期点検をしていただき、点検の結果、歩行器に異常が見られる場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:20頁』または発売元までお問合せください。

### ＜消耗部品について＞

グリップ、アームレスト、キャスター、ブレーキ関連部品、タイヤ、ネジ、ナットなどは消耗部品です。  
定期的な点検をしていただき、メンテナンスの際に摩耗や劣化、破損などがある場合は交換してください。

### ＜①本体(パイプ)＞

- ・パイプにキズや変形はないですか？
- ・開いた状態でガタつきはないですか？
- ・溶接部分に亀裂はないですか？
- ・開閉パイプにキズや亀裂はないですか？

### ＜②ハンドルブレーキ＞

- ・歩行ブレーキは作動しますか？
- ・駐車ブレーキは作動しますか？
- ・ブレーキワイヤー(チューブ)に亀裂や破損はありませんか？
- ・取り付けネジにゆるみはないですか？
- ・ワイヤーカップからチューブがはずれていませんか？

### ＜③ネジ・ボルト部分＞

- ・ネジ・ボルトにゆるみはないですか？
- ・ネジ・ボルトに破損や脱落はないですか？

### ＜④輪ネジ(大・小)＞

- ・輪ネジ(大・小)はしっかり締まっていますか？

### ＜⑨キャスター＞

- ・タイヤとフォークがスムーズに回転していますか？
- ・ボルトはゆるんでいませんか？
- ・タイヤにすり減り、切れはありませんか？
- ・樹脂部にキズや亀裂はありませんか？

### ＜⑩後タイヤ・ブレーキ＞

- ・タイヤはスムーズに回転していますか？
- ・ボルトはゆるんでいませんか？
- ・タイヤにすり減り、切れはありませんか？
- ・引っかけなくブレーキが作動していますか？
- ・ブレーキワイヤー固定ネジは確実に締まっていますか？
- ・ブレーキパッドがスムーズに動きますか？
- ・樹脂部にキズや亀裂はありませんか？
- ・ブレーキワイヤー(チューブ)に亀裂や破損はありませんか？
- ・ワイヤーカップからチューブがはずれていませんか？
- ・ワイヤーエンドキャップは付いていますか？

### ＜⑤アームレスト＞

- ・ぐらつきはないですか？
- ・破れはないですか？
- ・ネジのゆるみはありませんか？

### ＜⑥グリップ＞

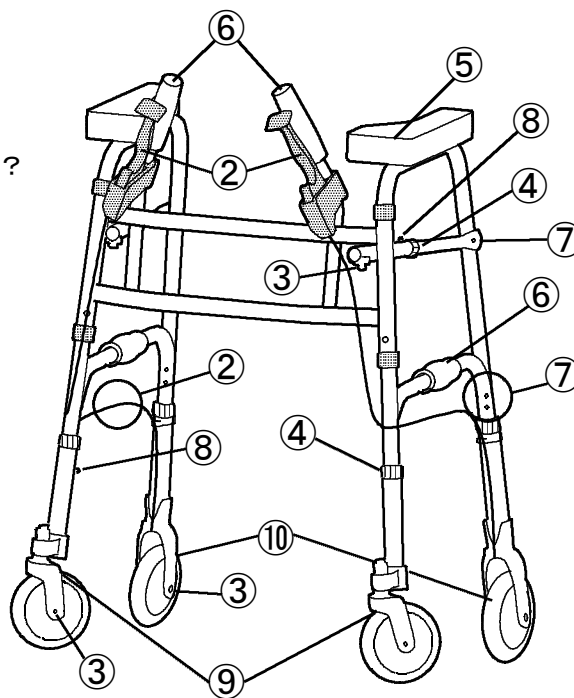
- ・摩耗や変形はないですか？
- ・下段グリップにネジのゆるみはないですか？
- ・ぐらつきはないですか？

### ＜⑦カシメ部分＞

- ・破損や脱落はないですか？

### ＜⑧プッシュボタン＞

- ・各プッシュボタンは大きく飛び出た状態に固定できますか？



**警告**

- ご使用前に必ずブレーキをご確認ください。

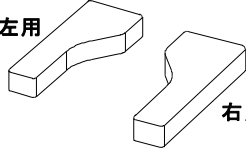
# 【アームレスト・下段グリップの交換方法】

「アームレスト」「下段グリップ」は、交換用部品をご用意しております。アームレストや下段グリップに摩耗や変形、ぐらつき、ネジのゆるみなどが見られた場合は、交換用部品をお買い求めいただき、交換していただきますようお願い申し上げます。お買い求めの際は、『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。

## 1. 部品名称

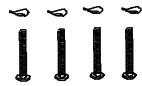
### <アームレスト>

左用



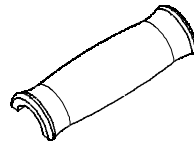
右用

セパレートアームレスト

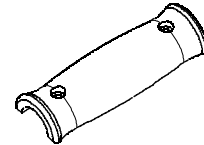


取付けネジ・ワッシャー

### <下段グリップ>



部品A(上側)



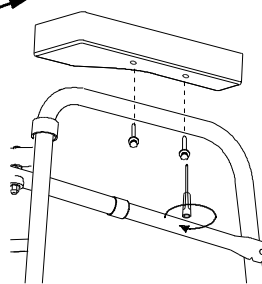
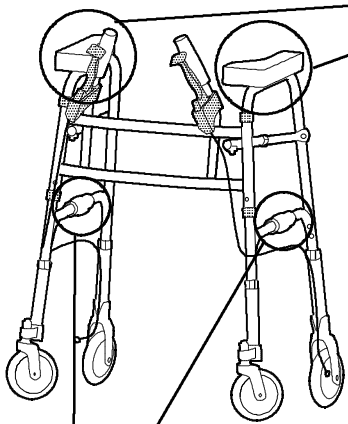
部品B(下側)



グリップ取付けネジ

## 2. 交換方法

### 『アームレスト』

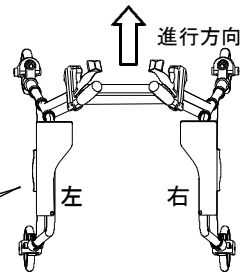


①取付けネジ2ヶ所をドライバーではずします。

②アームレストをはずし、新しいアームレストをパイプにのせます。

③取付けネジ2ヶ所をドライバーでしっかり締めつけてください。

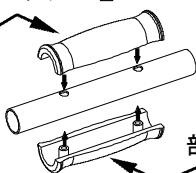
④反対側も同様に交換してください。



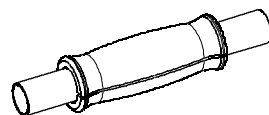
アームレストは左右があります。進行方向に向かって、内側に広い面が向くように取付けてください。

### 『下段グリップ』

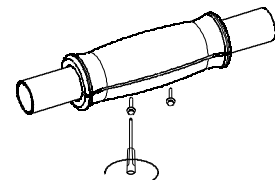
部品A(上側)



部品B(下側)



②「部品A」と「部品B」をぴったりあわせてください。



③ネジをまっすぐ差し込み、部品Aと部品Bの間にすき間やぐらつきがないように、取付ネジ2ヶ所をドライバーでしっかり締めつけてください。

①「部品A」はパイプ上側、「部品B」はパイプ下側に取付けてください。



**警告**

●アームレストやグリップを交換する前に、本体フレームパイプ、特に、アームレストやグリップ取付け周囲部分のパイプに変形、亀裂などがないことをご確認ください。パイプに変形、異常が見られる場合には、即時に使用、交換を中止し、『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。

○パイプが変形したり破損するなど思わぬ事故の原因になります。

●アームレストを交換した後、ぐらつきやネジのゆるみがないことをご確認ください。ぐらつきやネジのゆるみが見られる場合は、取付ネジをしっかり締めつけてください

○アームレストが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

●取りはずしたグリップを、再度取付けしないでください。また、取付けたグリップに、すき間やぐらつきが見られる場合には、ネジの付け直しをせず新しいグリップに交換し、付け直してください。

○グリップは、溝が切られていないネジ受けにネジを締め込むことでしっかりと固定されます。そのため、一度締め込んだネジを抜き、再度取付けると、ネジがゆるみやすくなり、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因となります。

●グリップを交換した後、グリップの部品A(上側)と部品B(下側)の間にすき間やぐらつきがないことをご確認ください。すき間やぐらつきが見られる場合は、ネジの付け直しをせず新しいグリップに交換し、付け直してください。

○不完全な取付けは、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因になります。

\*ネジを締めつけてもぐらつきが改善されない、取付けがうまくできない、異常が見られる場合などは使用せず、『アフターサービスのお問合せ先：20頁』または発売元までお問合せください。

## 【基本仕様】

品名：セーフティーアーム ①UXタイプウォーカー / ②UXタイプウォーカーハイ

品番	使用時サイズ(幅×奥行×高さ)	重量	タイヤサイズ	材質
①SAUX	60×57×84~94cm	5.8kg	前タイヤ:5インチ 後タイヤ:5インチ	本体 : アルミ センターシャフト : スチール グリップ : 合成ゴム
②SAUXH	60×60×103~113cm	6.5kg	前タイヤ:7インチ 後タイヤ:5インチ	アームレスト : ウレタン タイヤ : 合成ゴム

最大使用者体重 : 100kg

## 【安全に製品をご使用いただくために・・・】

### 《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・セーフティーアーム UXタイプウォーカー/UXタイプウォーカーハイ」をレンタル品としてお取扱いいただきまして、誠にありがとうございます。歩行器をレンタルされる際には、実際にご使用になるお客様に、歩行器の使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:家具、敷居、敷物など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒にご利用者様へお渡しく下さい。
- ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。長期にわたってレンタルされる場合はご使用される方の症状が変わる場合があります。定期的にご利用者様にとってこの用具が正しく、安全に使用することが可能かどうか、製品の状態、使用方法や使用状況などをご確認の上、再度、用具(歩行器、多点杖、歩行車など)の選定の検討や正しい使用方法のご説明をお願いいたします。
- 定期的にご利用者様宅を訪問の際に、歩行器の状態を『お手入れの際のチェックポイント:15頁』に基づきご確認いただき、メンテナンスを行ってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記:『製品についてのお問合せ先』までお問合せください。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的メンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取り扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

### 《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・セーフティーアーム UXタイプウォーカー/UXタイプウォーカーハイ」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点がございましたら、貸与を受けられているレンタル事業者までお問合せください。ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:下記』または発売元までお問合せください。

#### 『アフターサービスのお問合せ先』

製品名(品番)

セーフティーアーム UXタイプウォーカー / UXタイプウォーカーハイ  
(品番: SAUX / SAUXH)

レンタル開始日            年            月            日

会社名 (住所/電話番号をご記入ください)

\* 商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。

- \* 無断転載・複写を禁じます。
- \* 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。
- \* 「セーフティーアーム」は株式会社イーストアイの登録商標です。
- \* 製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しく下さい。
- \* 廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ(発売元)  
〒123-0864  
東京都足立区鹿浜1-4-14  
TEL 03(3897)9393 / FAX 03(3897)9535

[saux\_sauxh\_220907\_dl]